

# 大学院特別講義のご案内

◆ **日時：** 2016年5月18日(水)17:00～18:30

◆ **場所：** D棟3階 示説室

◆ **講師：** 福西 一浩 先生 (招聘教員)  
医療法人宝樹会 福西クリニック 理事長

◆ **演題：** Before Selecting Implant  
～歯の保存か、抜歯をしてインプラントか？～

インプラントは、欠損しているところを補うための材料であって、天然歯に代わるものではないという言葉があるように、歯を失った後に口腔機能回復を図るための治療オプションのひとつである。しかし近年、インプラントの予後が良好となってきた反面、歯を保存することへのこだわりが薄れてきているように感じられる。歯内療法的問題、歯周病的問題、歯根破折、外傷歯、健全歯質の欠如などの問題を抱えた症例に遭遇した場合、それぞれの現症をしっかりと診査したうえで、まずは保存の可能性について熟慮すべきである。そしてたとえ少しでも保存の可能性があれば、あらゆる知識と技術を総動員して全力をもって治療に臨むのが歯科医師としての使命だと考えている。

今回は、歯の保存にこだわる立場からインプラント治療の前になすべき治療について様々な症例を通じて検証してみたい。

問い合わせ先：有床義歯補綴学高齢者歯科学分野・2954

※『口の難病』セミナーをかねます。